

企業展示25ブースと共に盛会裏に終了することができました。750名を超える参加者と関係者に厚くお礼申しあげます。

第21回熊本支部学術集会

学術集会会長：平成とうや病院院長 岡嶋 啓一郎

2019年3月16日(土)くまもと県民交流館パレアにて第21回熊本支部学術集会を開催しました。テーマは「地域そして職場での連携と協働」とし、シンポジウム1「地域における医療・介護連携～在宅をめざして」では、まず厚労省の長谷川学先生にお話いただき、急性期病院、地域包括センター、在宅医、ケアマネジャーから地域包括ケアへの取り組みを、シンポジウム2「現場におけるチーム医療・介護～患者さんのために～」では現場での多職種連携について、クリニック、救命センター、がんケアチーム、NST、訪問ステーションから取り組みと問題点をご発表いただきました。ランチョンセミナーは3会場で、院内ICT活用、地域ネットワーク、移植医療についてお話いただきました。一般演題は4会場で141題(口演109題、ポスター28題、クリティカルパス4題)の発表があり活発な討論が行われました。400名を超える多職種の皆様のご参加をいただき大変有意義な会になったと思います。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第16回山形県支部学術集会

学術集会会長：米沢市立病院米沢市病院事業管理者 渡邊孝男

2019年7月13日(土)伝国の杜にて第16回山形県支部学術集会を開催し、県内全域から医療・介護関係者354名の参加がありました。



会場風景

「“尊厳ある人生”を支える地域医療・ケア」をメインテーマに掲げ、特別講演として神戸大学医学部附属病院緩和支援治療科特命教授の木澤義之先生より「アドバンス・ケア・プランニング いのちの終わりについて話し合いを始める」についてご講演をいただき、ランチョンセミナーでは三友堂病院教育部長的那須和子氏から「がん医療における看護師の役割と人材の育成ーがん専門病院での勤務経験を踏まえてー」と題してお話いただきました。

また、各施設から一般口演37題が発表され、互いの日頃の取組等への理解を深めました。シンポジウムには医療機関、大学、訪問看護ステーションから6名の先生にシンポジストとしてご参加いただき、各職場・職種それぞれの観点からの発表、その後の盛んなディスカッションと、人生の最終章を支える地域医療・ケアについて学び、実践するための大変意義深い機会となりました。

分科会及び講習会開催案内

2019年度医師事務作業補助者指導者養成講習会

テーマ：講義とワークショップによるチームマネジメント実践力の涵養

本学会では、2010年度より医師事務作業補助者の養成講習会を開催してきたところですが、学会会員の希望により今年度も、医師事務作業補助者の指導者を養成するための講習会を下記要領で開催することとなりました。本講習会は、指導者として補助者を育成し、またチームのリーダーとして必要な、書類・資料作成や、登録・統計の知識と技術、マネジメント、業務連携の手法、さらに今後の展望について、講義・演習とワークショップを通じて修得し、現場で役立つ実践力を養うことを目的としています。

全課程受講者には、修了証を交付します。実務研修のために定員が限られていますので、お早めにお申込み下さい。

なお、本講習会は医師事務作業補助者の資格取得のための講習会ではありませんので、ご注意下さい。

- ・日 時 2019年10月26日(土)、27日(日)、
11月30日(土)、12月1日(日)
- ・場 所 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)
- ・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

第1クール

第1日 10月26日(土)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 8:50 | 受付 |
| 9:20 | 開講式・オリエンテーション |
| 9:30~10:30 | 医療の流れ |
| 10:40~11:40 | 診療録管理 |
| 11:40~12:40 | 医師事務作業補助業務マネジメントの実際 |
| 12:40~13:30 | 昼食 |
| 13:30~14:30 | 海外における医師事務作業補助業務 |
| 14:40~17:40 | ワークショップ1：教育体制と能力評価 |